

■令和５年度桜川市病院事業運営評価委員会（Ｒ５．７．２６開催）による評価概要

I 運営評価委員会概要

1 目的

桜川市病院事業の運営にあたり、さくらがわ地域医療センターの指定管理者による管理に関する基本協定や、事業計画に基づいた病院運営及び施設等の管理状況について点検評価し、適正な医療提供及び施設管理、さらには将来にわたる桜川市の医療提供体制の確保に資することを目的とする。

2 評価対象

（１）令和４年度さくらがわ地域医療センターの指定管理業務の取組状況・・・指定管理者

3 評価基準

評価記号	評価基準
○	協定内容が遵守されており、事業計画に基づく事業実施や取組状況や数値目標について水準を満たしている、又は期待以上となっている。
△	協定内容の遵守や、事業計画に基づく事業実施や取組状況に問題はないが、一部に改善の余地がある。
×	協定事項が遵守されていない、または事業計画内容が実施されておらず事業実施に支障があり、早急な対応が求められる。

4 評価委員

役職	委員氏名	役職名
会長	石川 武彦	桜川市 副市長
副会長	阿部田 聡	真壁医師会 桜川支部長
委員	鈴木 裕一	桜川市議会 文教厚生常任委員長
委員	水谷 太郎	地方独立行政法人茨城県西部医療機構 理事長
委員	古橋 伸夫	桜川市 代表監査委員
委員	藤田 幹夫	桜川市 市民生活部長
委員	小幡 康	桜川市 保健福祉部長

Ⅱ 評価結果概要

	項目	評価対象事項	評価
1	医療機能		
	(1) 基本的医療機能	①適正な人員の確保 ②研修等の実施	△
	(2) 外来診療	①外来診療実績	○
	(3) 入院診療	①入院診療実績	△
	(4) 初期（一次）救急医療及び対応可能な二次救急医療	①救急受入実績	△
2	附帯業務及び地域医療連携		
	(1) 医療安全・医療倫理	①医療安全委員会と医療安全体制について ②院内感染対策委員会の開催状況 ③倫理委員会等の取組状況	○
	(2) 保健衛生事業	①健康診断、人間ドック等の実施状況	○
	(3) 災害発生時及び市民の健康危機発生時の医療	①災害時等対応への取組状況	○
	(4) 地域医療機関との連携・支援、地域医療全体の質の向上のための取組	①周辺医療機関等との連携 ②地域医療の質の向上のための取組 ③職場体験等の受入状況 ④訪問看護利用者数	○
3	施設等維持管理、その他		
	(1) 施設管理	①施設等の保守・点検の実施状況 ②施設等の修繕・改良等の実施状況	○
	(2) 医療データベースの構築と情報提供	①医療データベースの構築状況	○
	(3) 市民への情報公開や病院運営に関する市民参加の推進	①情報発信状況 ②ご意見の内容・件数 ③患者無料送迎状況	○
	(4) 医療法に基づく立入検査受検状況	①保健所による立入検査状況 ②厚生局による立入検査状況	○
4	病院経営		
	(1) 安定した病院経営	①収支状況（計画・実績）	○
【総評】 全体としては、基本協定及び事業計画に基づいた病院運営が図られているものと評価する。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、病床利用率や救急搬送応需率については低下が見られたが、一般診療及び発熱外来による外来実績は概ね計画通りとなった。 収支面においては、新型コロナウイルス感染拡大や情勢不安による物価高の影響により、経常収益は減少となったが、補助金等の臨時収益により昨年度を上回る純利益となった。 今後とも、地域医療構想及び病院再編統合に当たっての役割分担を念頭に、地域医療機関等と連携しながら、民間ノウハウを生かした病院経営に努めていただきたい。			

○議案に対しての主な意見

1 医療機能	
(1) 基本的医療機能	・医療スタッフの確保については、医療サービスの維持や質の向上のためにも、人員確保に一層努められたい。 ・接遇については、意識調査や研修の内容を踏まえ、全スタッフの接遇向上に一層取り組まれたい。
(2) 外来診療	・外来患者数についてはコロナ禍前の水準に回復し、概ね計画通りである。今後益々の改善に努めていただきたい。
(3) 入院診療	・療養病棟、一般病棟ともに計画を下回っている。コロナ禍の影響が大きかったものの、今後の病床利用率向上に努めていただきたい。
(4) 救急医療	・コロナ禍の影響により、応需率が大きく低下している。今後は市民の安心感にもつながるよう、救急搬送応需率の向上に努めていただきたい。
2 附帯業務及び地域医療連携	
(1) 医療安全・医療倫理	・院内での各委員会における検討事項は広くスタッフに共有し、インシデント報告を広く情報収集するよう努めていただきたい。 ・院内感染対策は、引き続き強化に努めていただきたい。
(2) 保健衛生事業	・健康診断等の件数は増加しており、市民の疾病予防、健康増進の受け皿として機能している。
(3) 災害発生時及び市民の健康危機発生時の医療	・震災、感染症のリスクは高まっているため、有事に対応できるよう引き続き訓練実施やマニュアル更新を進めていただきたい。
(4) 地域医療機関との連携・支援、地域医療全体の質の向上のための取組	・MRI、CTの共同利用件数は年々増加しており、地域医療の質の向上に貢献している。 ・訪問看護利用者数も増加している。今後増々の需要増に対応していただきたい。
3 施設等維持管理、その他	
(1) 施設管理	・今後の医療機器や設備の更新について、計画的に実施できるよう計画の策定を図られたい。
(2) 医療データベースの構築と情報提供	・マイナンバーカードでの資格確認を適切に運用して、利用者の利便性向上に努めていただきたい。
4 病院経営	
(1) 安定した病院経営	・純利益は計画を上回ったが、経常損益が計画に対して下回っているため、入院収益の改善や、医業費用の見直しをするなどして医業収支の改善を図られたい。